

GNF3型式証明 審査資料	
資料番号	007N7421 Rev.4
提出年月日	2023年12月22日

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

GNF3型式証明 審査会合における確認事項に対する回答一覧表

No.	年月日	資料	コメント内容	回答状況 (回答日)	回答内容
1	2023年4月20日	007N6959 Rev.2 p.9	個別プラントの設置変更許可申請書には、その申請内容が本型式証明の五1.に記載される「範囲」の中にあることを示す記載が必要と考えるが、同「範囲」の内容（詳細設計に係る値）を踏まえると、従来と同様の設置変更許可申請書の記載では困難であると考えられるため、設置変更許可申請書の記載をどのようにすべきかを検討し説明すること。	一部についてヒアリング (2023/5/26)にて説明	本型式証明申請書に記載する内容は、設置変更許可申請書に記載する内容であることを原則として、本型式証明申請書の記載内容の適正化を行う方針とし、今後の対応方針を以下の資料にまとめた。 (007N7828 Rev.0 p.2,3)
				一部について審査会合 (2023/11/16)にて説明	本型式証明申請における耐震設計の「部分適用」に関して、本文五号2項(8)の記載は削除することとする。(008N1857 Rev.1 p.2,3)
				未説明部については 後日回答	
2	2023年4月20日	-	許可基準規則第15条の適合性について、前例踏襲ではなく、日本原子力学会の分析結果なども用いて可能な限り幅広く説明すること。	後日回答	
3	2023年4月20日	-	燃焼が進むことに伴い運転中の燃料棒の内圧が外圧より高くなることについて、被覆管の物理的及び化学的性質にどのような影響を与えるか説明すること。	本日回答 (2023/12/22)	燃料棒内外圧差が被覆管材料に及ぼす影響についての説明を記載した。 (007N7986 Rev.4 5(1))
4	2023年4月20日	-	高鉄ジルカロイの照射実績について整理し、そこから得られた知見が熱的制限値及び損傷限界値を設定する際にどのように反映されているか説明すること。	本日回答 (2023/12/22)	高鉄ジルカロイの照射実績について整理し、そこから得られた知見が熱的制限値及び損傷限界値を設定する際にどのように反映されているかについて、ジルカロイ-2との比較により整理した。 (007N7986 Rev.4 付録-6)
5	2023年4月20日	-	本申請で使用する機械設計コードPRIME03について、平成22年に旧原子力安全・保安院が評価したトピカルレポートの内容からの変更の有無、及びGNF3型への適用性を説明すること。	一部についてヒアリング (2023/6/21)にて説明	本申請で使用する機械設計コードPRIME03について、平成22年に旧原子力安全・保安院が評価したトピカルレポートの内容からの変更点及びGNF3型への適用性を以下の資料にまとめた。 (007N7986 Rev.0 付録-1)
				一部についてヒアリング (2023/10/17)にて説明	2023/6/21ヒアリング時のコメントを踏まえ、資料を修正した。 (007N7986 Rev.2 付録-1)
				一部について本日回答 (2023/12/22)	2023/10/17ヒアリング時のコメントを踏まえ、資料を修正した。 (007N7986 Rev.4 付録-1)
				未説明部については 後日回答	
6	2023年4月20日	-	ペレット最高燃焼度の変更などによる機械設計及び解析手法の適用性への影響を説明すること。	後日回答	
7	2023年11月16日	-	本申請で説明を予定している試験データ及び照射データ（特にGNF-Zironに関係するもの）並びに解析結果についての準備状況を早い段階で示すこと。	2023/12/21審査会合で回答	本申請で説明を予定している試験データ、照射データ及び解析結果についての準備状況を一覧表で整理した。(008N3011Rev.1)